

六〇万ヘクタの熱帯雨林



ブンガラ・サラギ

【BOS財団理事長
インドネシア前農業大臣】

インドネシアの非営利財団BOS（ボルネオ オランウータン サバイバル ファウンデーション）はオランウータンを自然の森林に返す活動を続けています。こうした活動を行う財団としては世界最大です。

ボルネオ島（カリマンタン）には現在、約五万頭のオランウータンが生息していると言われています。オランウータンは世界でもボルネオとスマトラ島にしか生息していません。ボルネオはインドネシアとマレーシアが領有していますが、ボルネオのオランウータンは九〇％がインドネシア側にいます。ですからこの財団の役割は非常に重

要です。

一九六〇年代から森林の伐採が増え、住みかがなくなったオランウータンがでてきました。伐採された木材は主に日本に輸出されました。

住みかがなくなったオランウータンを救出し、リハビリして森林に返す我々の活動によって、これまで約千二百頭を救出し、約三百五十頭を森林に放しましたが、九年前から放す活動がストップしています。

というのも、放すのに適切な森林が見つからなくなってきたからです。現在、BOSの管理する檻の中に約八百五十頭のオランウータンがいます。

これ以外に現在、中央カリマンタン自治政府、林業大臣と協力し合い、中央カリマンタンの約三十万ヘクタの原生林から、約三千頭の野生のオランウータンを救出する計画があります。

オランウータンを救うにはどうしたらいいか。我々は全てを理解しているわけではありません。救いながら、その救い方を

学んでいるのです。我々が成功することによって、他のNPOや政府に我々の経験を提供する事で、オランウータンを救うモデルになればと考えています。

九年間オランウータンを森林に放す活動がストップしているため、我々は戦略を変えました。現在、インドネシア政府に対し、東カリマンタンの約十万人、中央カリマンタンの約二十万ヘクタの森林を我々に提供するよう要請しています。

我々が森林を管理することで、人の侵入を防止し、オランウータンの食料に適した植林を行います。森林火災を防ぐこともできます。

最低、三世代のオランウータンが生きていけるように、できるだけ大きな森林を確保したいと考えています。この三十万ヘクタに加わると、我々が管理する森林は合計六十万ヘクタに達します。我々は非営利団体に過ぎませんが、非常に広大な熱帯雨林を管理することになります。

過去三年間でわれわれの財団は毎年500万ドルの予算を使っています。多くがこうした森林確保のために使われています。

我々の獲得した森林管理権は延長権も含め九十五年間あります。我々が森林を管理することは、森林が持つ生物多様性が生み出す様々な環境サービス、例えば洪水や干ばつを防止したり、CO₂を吸収したりする役割を享受することを可能にします。

これまでのような木材資源の供給源、という考えに対して、全く新しいパラダイムとなるものなのです。

これらの活動には政府とNPOの力だけでは足りません。そこにビジネス・コミュニティが関わらないとできないことがたくさんあります。それによってこの取り組みが維持可能となります。さらに、地域住民の協力も必要になります。この四者のコラボレーションによって初めて、オランウータンを救うことが可能となるのです。